

隋唐时代东亚国际关系的几个问题

王 小 甫

提要：本文从主体间交流的视角，重新审视了迄至七世纪的东亚国际关系，对古代日本对华遣使的性质变化、“白江口之战”的原因及影响、倭国改名日本的时间、统一新罗的历史地位和作用等问题都提出了自己独特的看法，突破了相关研究传统的中心与边缘关系框架，论证了隋唐时代东亚地区的多元共存格局。

关键词：隋唐 东亚 遣唐使 白江口

隋唐時代の東アジアの国際関係

王 小 甫

要旨：本報告は、主体間の交流という視点から、七世紀までの東アジアの国際関係を詳細に再検討し、古代日本から中国へと派遣された使節の性格の変化、「白村江の戦い」の原因および影響、倭国から日本への国号改称の時期、統一新羅の歴史的位置付けとその影響などの問題について独自の見解を提示した。さらに、従来の研究における中心と辺縁という枠組みを越えて、隋唐時代の東アジア地域に存在した多元的共存の状況を論証した。

キーワード：隋唐 東アジア 遣唐使 白村江